

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2 年次生 A.F

1. はじめに

3 月 9 日から 3 月 18 日まで国際交流基金助成事業のオーストラリア研修に参加しました。宿泊先は一人一家庭のホームステイで貴重な経験をさせていただきました。研修中、Griffith University では英語レッスンの受講、キャンパスツアーや薬学部見学、オーストラリアの医療についての講義を受けました。Gold Coast Private Hospital では病院内を見学しました。放課後には同じく研修に参加した友達との観光などの充実した時間を過ごすことができました。

この度は、オーストラリア研修を通じて学び、考えたことをご報告いたします。

2. Griffith University での学び

Griffith University では、午前中に英語で医療英語を学びました。グループワークの活動が多かったため、英語に不安でもお互いに助け合いながら共に取り組みながら学ぶことができました。

午後からのキャンパスツアーでは現地の学生に案内していただき、私たちと同世代の方と交流を持つことができました。

また、薬学部の授業体験では AI 技術が搭載されたスマートグラスを着用してスマホなどの映像を 3 次元的に見ることができる最先端の技術に触れました。実際の授業では学生がこの機能を使って AI で創り出したアバター、つまり仮想患者さんに服薬指導の練習を行っていると聞きました。このように、薬学部の授業では AI を上手く活用しており、日本と比べると教育の現場に AI を積極的に取り入れていると感じました。



写真 1 Griffith University

3. 医療施設見学

私たちが施設見学で訪れた Gold Coast Private Hospital は民間の病院でちょうど 10 周年を迎えた病院でした。ゴールドコーストで最も心臓の治療に特化しており、最新の設備を備えた手術室があります。

病室内を見学した際に印象的だったのは Patient Care Board という患者さんの情報をまとめて記載するボードです。医療従事者の間で情報を共有することができるため、チームで患者さんを支えていると感じました。

心臓の治療の他にも産科や 24 時間の救急科、病院の各所入院患者さんのためのリハビリルームがあり、設備が整っていると感じました。



写真 2 産科

4. 交流体験（ホームステイ）

ホームステイ先はプライベートが確保されており、過ごしやすい環境でした。水不足が深刻であるという観点から、渡航前からシャワー時間に厳しいと聞いていました。私のホームステイ先では特に決められた時間はなかったことに安心しましたが、無駄な水を使わないように心がけました。夕食にはステーキや日本風に仕上げた焼肉、日本のカレー、ホストファミリーが好きなメキシコ料理を作ってくれました。その中でも一番美味しかったのは手作りのピザです。ピザは生地から作り、自分が好きな具材を乗せてオーブンで焼くという貴重な経験をさせていただきました。

ホームステイ先には犬と猫を 1 匹ずつ飼っていて、滞在中は私の部屋で一緒に過ごすことが多く、不安だったホームステイも楽しく過ごすことができました。

ホストマザーと一緒に近所や自然豊かな公園を散歩した時はすれ違った人と挨拶や短い会話をすることが多く、現地の方々のフレンドリーで気さくな性格に心が温まりました。スーパーマーケット、Hota Gallery という美術館や Coombabah という公園に連れて行ってくださり、オーストラリアの芸術と大自然を感じることができました。公園で

は近距離でカンガルーを見ることができて、見つけることが難しいコアアラも3匹見ることができ、良い思い出になりました。



写真3 手作りのピザ

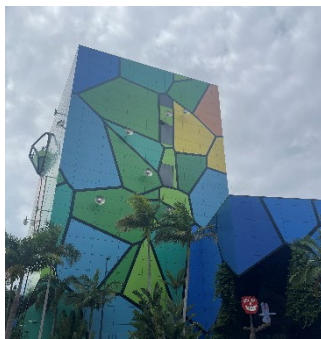


写真4 Hota Gallery



写真5 カンガルー

5. オーストラリア研修を終えて

私は日本と異なる文化や環境の地で生活を通しての学びや自分の価値観への刺激を求め、今の自分の英語の実力を試したいと考え、この研修に参加しました。現地では積極的に英語でコミュニケーションを取ることを目標として、ホームステイ先では翻訳機を使わずに生活することに挑戦しました。

実際にはホストファミリーと会話する際に上手く英文を組み立てられず、発音の未熟さにより相手に自分が使う英語が理解されない場面がありました。自分の英語に対する理解や語彙力の少なさを実感し、自分の実力を知ることができました。伝えたいことを上手く言葉にできなくて詰まってしまっても、ホストファミリーが最後まで私の言いたいことを理解しようと会話を続けてくれて、さらに英語の実力を高めたいと思うきっかけとなりました。

また、オーストラリアの医療についての講義や病院見学を通して、日本と異なる環境に興味を持ったことから、オーストラリアの医療機関で働くことや海外で生活するという新しい視点を持つことができました。今回の研修でオーストラリアの方々のおおらかさやフレンドリーな人格に触れ、新たな価値観や生き方を考える貴重な経験となりました。